

福祉

ふれあいネットワーク
Vol. 299

かつらぎ

2023年
(令和5年)

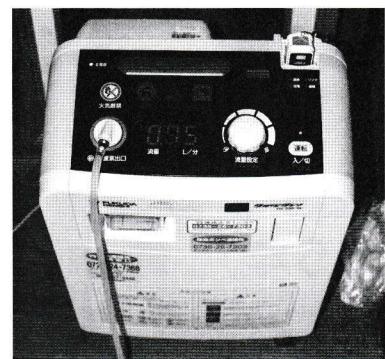
2月



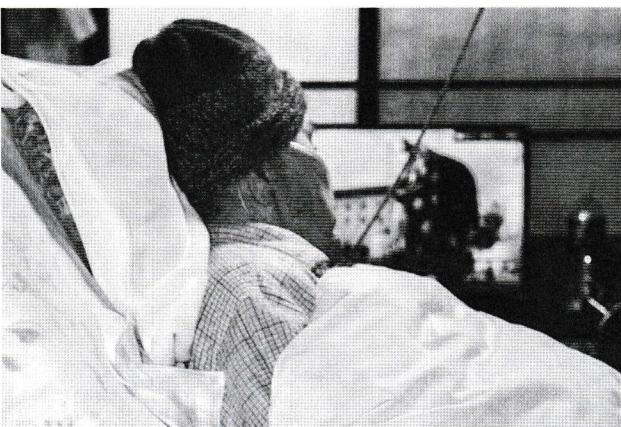
特集 ケアマネ × 防災

もし災害が起こったら
あの人は避難できるかな?





写真上) 在宅酸素を使用
写真右) ベッド上での生活



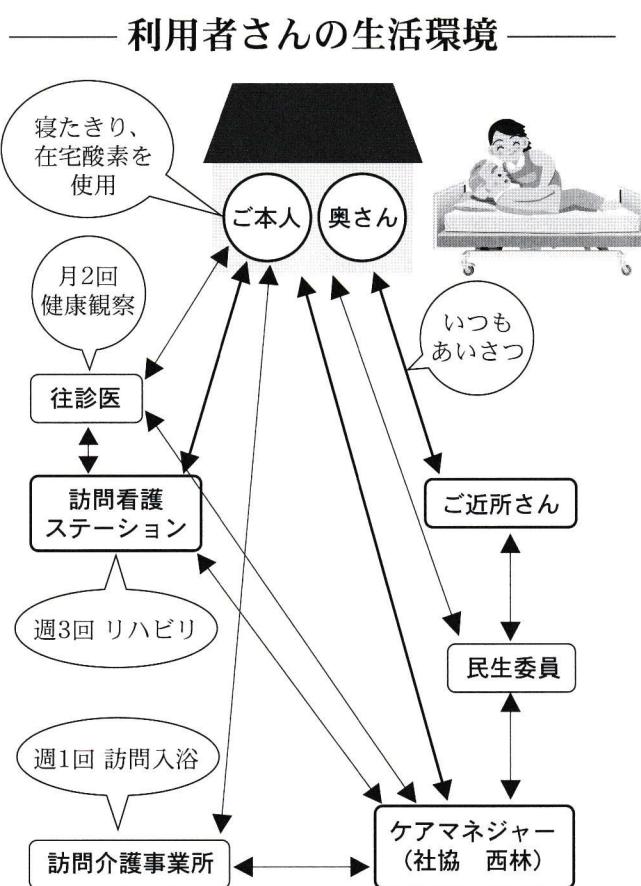
もし災害が起こつたら

あの人は避難できるかなあ？

ケアマネジャーとして関わって
いる利用者さんの中に、ご主人は
寝たきりで在宅酸素を必要とし、
生活するうえで必要となる動作の
全般において奥さんや介護サービ
ス事業所の介助を必要とする方が
います。

- ◆ “突然起こる災害、高齢者の二人暮らし、もし災害が起こつたら”
- ◆ このご夫婦はどのように避難ができるのだろうか？
- ◆ ケアマネジャーとして何ができるのだろうか？

そう考えた時、事前に避難方法
を検討しておくことで、当事者で
あるご夫婦や、関わる私たちも、
不安なく行動ができるのではないか
と思い、ご夫婦に関わる関係者
や地域の方々にも参加いただき、
令和4年11月14日(月)、一緒に避
難訓練を行いました。



今回の訓練は、ケアマネジャー
として関わる「利用者」と「防
災」について考えた時、あの人は
避難できるかなあ？と感じたのが
きっかけで、関係者と話し合い、
訓練の実施に至りました。



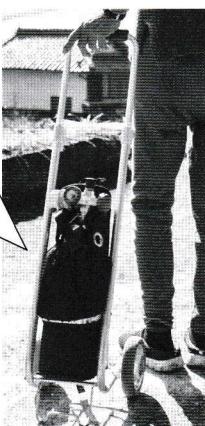
かつらぎ町社会福祉協議会
にしばやし めぐみ
ケアマネジャー 西林 恵

避難訓練の参加者は 良く知る身近な人

参加者は、寝たきりのご主人さん（ご本人）と奥さん、隣近所の3軒から男性3名（地区長さんを含む）、普段から利用している訪問看護ステーションの作業療法士さん、そしてケアマネジャーを含む社協職員3名、合わせて9名で、身近な人の訓練です。

ベッドから車両まで 搬送する訓練

ご本人は、在宅酸素を使用していますが、「緊急時、やむを得ない場合は、少しの時間なら酸素チューブを外しても差し支えない方です」と作業療法士さんからアドバイスをいただき、搬送時は酸素チューブをつけずに移動し、車両に乗り込むと同時に、携帯酸素を装着していただきました。



奥さんが携帯酸素の持ち出しを担当します。

知っている人ばかりだから 怖くなかった

実際に避難訓練を行つたご本人は、奥さんやご近所の方々が訓練を行つてくれたことで安心され、「知つている人ばかりだから怖くなかった」と話されていました。

また、奥さんも、普段から声をかけ合い、気にかけてくれているご近所の方と一緒に訓練ができたことに感謝し、「いつも助けてもらっている。ありがたい。」と話されていました。

実は気になっていた やつてみて良かつた

近所の方からは、「実は気になつていた」「いざ災害が起つて助けるとなつても、どうして良い

座ることも介助がいる状態です。寝たままご本人を搬送する方法として、ベッドシーツを担架代わりに活用しました。地域の方など4人が四隅を持ち、一旦ベッドから畳の上に下ろしました。その後さらに土間を通つて、最後は車両に乗り込みました。

また、「もう少し人手がほしいな」「車種も考えた方が良いな」となどと課題も見えてきました。

社会福祉協議会では、災害時に配慮を必要とする方、特に地域の助けだけでは避難することが困難な方を対象に、個別懇談会や避難訓練を実施しています。

今回の訓練は、ケアマネジャーの気づきから、災害に備えた個別避難訓練を担当する地域係の職員と協力して取り組みました。



写真右) 竹本郁世 地域係長

お問い合わせ

町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所

☎ 0736-22-4777
地域係
22-4311

妙寺団地 防災訓練

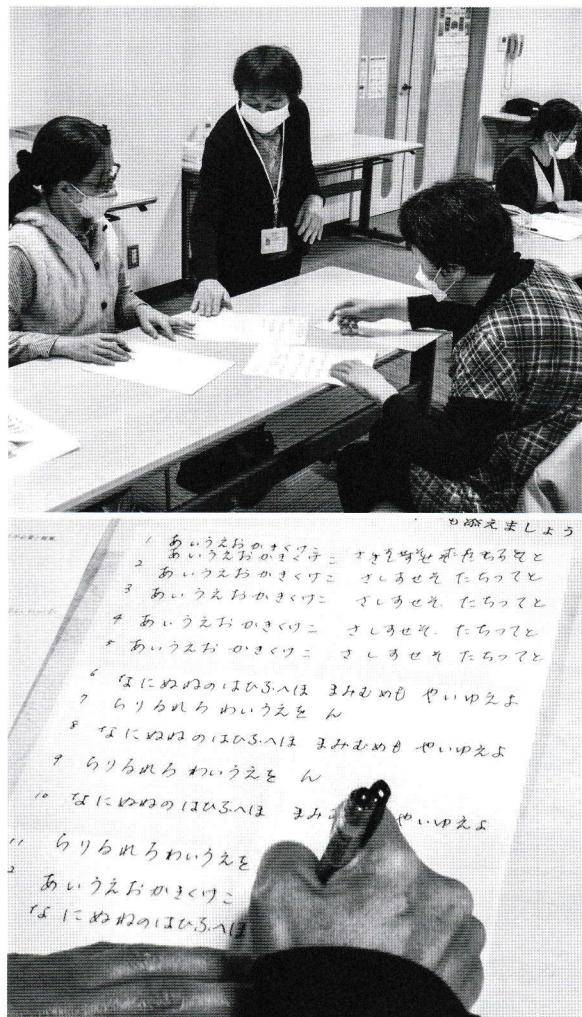
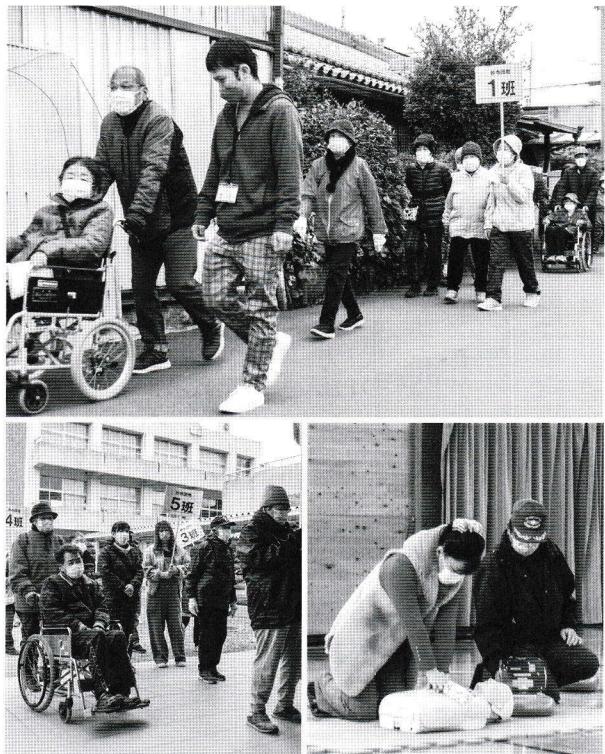
また車いすを使ってみたい

12月4日(日)、妙寺団地自治会(36名)が妙寺中学校体育館への避難訓練とAEDの使用訓練を実施しました。

社会福祉協議会は「車いすを活用した避難訓練をしたい」と団地長さんから相談を受け、車いすの使い方の説明や、車いすでの避難訓練が安全に行われるよう見守りを行いました。

訓練中、若い人が車いすに乗り高齢の方が車いすを押している場面も見られ、世代に関係なく団結して訓練に取り組まれていました。

参加者からは「車いすを使ったことがなかったので緊張した」「車いすに慣れることができるよう機会があったらまた使ってみたい」「安心して乗れた」と話されていました。



コミュニケーションの一つ 要約筆記体験 文字に気持ちを込めて伝える

12月1日(木)と8日(木)の2日間、町社会福祉協議会は、ボランティア講座「要約筆記体験～手書きコース～」を開催し、7名の参加がありました。

講義と実技を織り交ぜた今回の講座は“きこえ”についての学びと体験により「文字に気持ちを込めて伝えることの大切さ」をみんなで考えました。

参加者は、「手話だけでなく、中途失聴の方には、筆談も大切だと思いました」「言葉を聞きながら頭でまとめて、それを文字にするのはとても難しかったです。でも、少し要約筆記にふれられたのでとても良い経験ができました。」「私の力が少しでも困っている人の役に立つのなら、これほどうれしいことはない。」と感想をいただきました。また、コミュニケーションで一番大切に思うことは?という質問に、「言葉が伝わらなくても、顔を見て気持ちを伝えること」と話していました。



町老人クラブ連合会 健康づくり講座 健康は健口(けんこう)から!

11月18日(金)、町老人クラブ連合会は、第5回「健康づくり講座」を大谷公民館で開催し、22名の参加がありました。

「健康は健口(けんこう)から」というテーマで、和歌山県歯科衛生士会 坂本佐知子先生から、口の働きや噛む力、歯みがきの重要性を学び、家でもできる“お口の体操”を行いました。

参加者から「もらった体操の資料を冷蔵庫に貼って時々やっている☺」「受けた人は家でも参考にして続けてほしい」「受講後、地域の活動で伝えています。やっている人はやつていらない人より食べこぼしが少ない」と話がありました。



花園支所での交流



大谷公民館 大正琴サークル 涙ぐみながら歌う利用者

11月29日(火)、大谷公民館の大正琴サークル(7名)が、花園支所を訪れ大正琴の演奏を行いました。

演奏中、涙ぐみながら曲に合わせて歌っている方もおり、感動的な演奏会となりました。

利用者は「いいの聴かせてもらったわあ」「懐かしい曲ばっかりでうれしかったよ」と話されていました。



梁瀬小学校からパンジーの苗 お礼に手作りの布草履

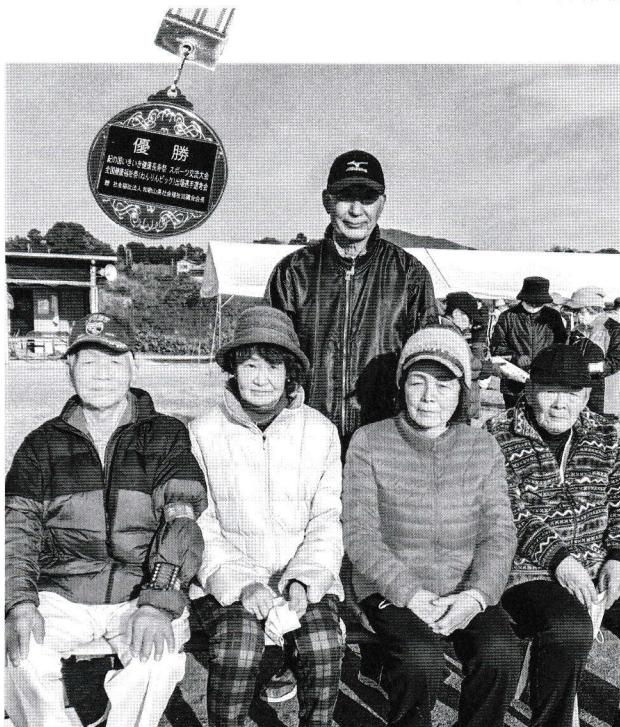
12月1日(木)、梁瀬小学校の児童からパンジーの苗が届けられ、そのお礼として利用者から手作りの布草履をプレゼントしました。受け取った児童は「かわいい」と喜び、お互いに笑顔あふれるひとときになりました。



赤十字奉仕団とかご作り 今度は座布団を作りたい

12月8日(木)、町赤十字奉仕団役員3名が、利用者と靴下の端切れを使ったかご作りを行いました。

参加者から「今度は頑張って座布団をつくりたい」と早くも次の交流が楽しみな様子でした。



ゲートボール交流大会で優勝 あおい チーム葵が全国大会に出場

12月8日(木)、ゲートボールチーム葵が、県内16チームが参加する紀の国いきいき健康長寿祭ゲートボール交流大会で優勝し、令和5年10月に開催される「第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック)」に出場することが決定しました。

主将を務める、谷岡清一さん(丁ノ町)は、「思いもよらぬ連勝で優勝することができました。県代表としてえひめ大会に参加できることがうれしいです。」と話されていました。

出場メンバーは谷岡さんと、木野進さん・公子さん(花園北寺)、青山満幸さん(橋本市)、廣田みづほさん(橋本市)の5名です。

優良社会福祉協議会の取組発表 ちょっとサポート事業を紹介

12月23日(金)、市町村社会福祉協議会会长会議が和歌山ビッグ愛で開催され、令和4年度『優良社会福祉協議会』(和歌山県社会福祉協議会会长表彰)を受賞した有田市社協とかつらぎ町社協が取組を発表しました。

本会は、「ちょっとサポート」の取組を山本幸則事務局長が発表し、制度では対応しきれないちょっとした困りごとを、地域の方々やボランティア、関係者が協力して解決を目指す“支え合いの仕組み”を紹介しました。

参加者から、「今度、改めて詳しく話を聞かせていただきたい」との声がありました。



＼＼歳末たすけあい募金　ありがとうございました／／

歳末たすけあい募金	
	1,239,486円
●自治区・町内会を通じて	1,199,234円
●団体・個人から	13,339円
(伊都消防組合職員一同・個人2名)	
●前年の繰越し	26,913円
赤い羽根共同募金の活用	
	187,000円



歳末たすけあい支援金として 助成 1,426,486円	
生活困窮世帯 (45世帯)	735,000円
小学校・中学校 (7校)	269,000円
こども園・幼稚園 (4園)	349,400円
児童養護施設 (3施設)	70,000円
事務経費	3,086円

善意のご寄付

(12月1日～12月31日 敬称略)

次の方々から社会福祉協議会へ善意の寄付をいただきました。寄付金は、広く地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

◆遺志として

岡村 和夫	亡母 澄子	笠田東
曾我 篤	亡母 照代	西渋田
廣畑 忠彦	亡母 俊子	妙寺
山本 修造	亡母 マサ子	佐野
山口 孝義	亡父 正則	丁ノ町
辻内 宏	亡父 文夫	丁ノ町
藤井 弘光	亡父 昭雄	佐野
松下 公昭	亡祖母 武子	笠田中
智多 淳一	亡父 寛司	西渋田
北 美智子	亡母 千賀子	笠田東
西之坊 幸宏	亡母 憲子	笠田東
西岡 寛治	亡母 登志子	柏木
吉田 賢治	亡妻 美智子	笠田中
久保 百代	亡母 阪口美千代	寺尾
土谷 英治	亡父 正孝	宮本

ありがとうございました

ありがとう*

(12月1日～12月31日 敬称略)

★使用済切手・ハガキ収集に協力いただいた方

日進化学(株)和歌山工場

ボイスカウト伊都第3団

遍照寺檀家一同・(株)作部屋商店

点字サークルあすなろ・匿名2件

★配食サービス(本所)に食材料を提供いただいた方

神谷 美恵(大根)

匿名(米)

匿名(みかん・レモン)

匿名(米・かぼちゃ)

匿名(白菜・にんじん)



★ウクライナ人道危機救援金に協力いただいた方

—日本赤十字社かつらぎ町分区受付分—

池田 迪哉・阪本 勲

佐野ふれあい館サークル連絡会

参加者
募集

認知症の方のよき理解者・支援者を増やしたい!

認知症サポーター養成講座

日 時 2月21日(火)
13時30分～15時
場 所 地域福祉センター2階

更に
深めたい方



認知症サポーターステップアップ講座

日 時 3月14日(火)
13時30分～15時
場 所 地域福祉センター2階

問い合わせ・申込み 地域包括支援センター ☎0736-22-2322



こまつた時は、気軽に相談しよう!!



もの忘れ相談

2月6日(月)・20日(月)

受 付 13時～15時(先着順)
場 所 町地域福祉センター2階
問合せ 町地域包括支援センター

☎ 0736-22-2322

年相応のもの忘れ?認知症?迷ったら
ご相談を(当日電話での相談可能)

無料法律相談

2月13日(月)・27日(月)

受 付 13時30分～15時30分(先着順)
場 所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会

☎ 0736-22-5222

法的なトラブルに弁護士が相談に応じて
います(相談時間は16時まで)

ふくし何でも相談

月～金曜日(祝日除く)

受 付 8時30分～17時15分
場 所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会

☎ 0736-22-5222

日常生活上の困りごとに幅広く対応
職員が相談に応じています

2月 February 2023 ふくし・ボランティア カレンダー

社会福祉協議会・福祉団体

1 水	
2 木	町老人福祉大会 (13:00~15:30総合文化会館) つれもてカフェ (13:30~15:00 cafeころーれ)
3 金	友愛電話 (笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、東渋田、西渋田、中央部、四邑、志賀、天野、新城)
4 土	
5 日	
6 月	朗読山びこ (9:00~14:00) もの忘れ相談 (13:00~15:00)
7 火	配食サービス (丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田、笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二)
8 水	
9 木	
10 金	友愛電話 (丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田、笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二) つれもてカフェ (10:00~11:30喫茶たんぽぽ)
11 土	建国記念の日
12 日	
13 月	無料法律相談 (13:30~15:30)
14 火	配食サービス (笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、東渋田、西渋田、中央部、四邑、志賀、天野、新城) つれもてカフェ (13:30~15:00みまもりショップ杏) 布のおもちゃ (13:30~16:00)
15 水	
16 木	認知症家族の会 (13:00~15:00)
17 金	
18 土	
19 日	
20 月	もの忘れ相談 (13:00~15:00)
21 火	配食サービス (丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田、笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二) 認知症サポーター養成講座 (13:30~15:00) 布のおもちゃ (13:30~16:00)
22 水	点字サークルあすなろ (9:00~12:00)
23 木	天皇誕生日
24 金	つれもてカフェ (13:30~15:00ディイサービス夢心)
25 土	
26 日	
27 月	無料法律相談 (13:30~15:30) つれもてカフェ (13:30~15:00エスキース)
28 火	配食サービス (笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、東渋田、西渋田、中央部、四邑、志賀、天野、新城)

新型コロナウイルスの影響により
活動が中止となる場合があります

★実施場所の掲載がない所は、
地域福祉センターです。

地域のボランティア活動

よりみち・ひきこもり相談会 ※要電話予約
(13:30~15:30大谷地域交流センター)
よりみち・親の会(19:30~21:00大谷地域交流センター)
手話サザエさん(19:30~21:00笠田ふるさと交流館)
ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)

ひきこもり青年のための「居場所」

日時 月~金曜日 (祝日除く) 13:30~15:30

※ 8日 (水) 11:30~鉄板焼き

※14日 (火) は小中高生居場所

※10・24日 (金) は女性居場所

場所 大谷地域交流センター

(問) NPO法人よりみち ☎090-7093-9595

手話伊都手のひら(19:30~21:00妙寺公民館)

ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)

つれもてカフェ

赤ちゃんから高齢者までどなたでも
自由に参加することができます。

認知症について気軽に学び、同じ
悩みを持つ方とつながり、専門的
な相談もできます。(2日・10日・14日・24日・27日)

(問) 地域包括支援センター ☎0736-22-2322



手話サザエさん(19:30~21:00笠田ふるさと交流館)

ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)

はっぴーサークル(13:30~15:30笠田ふるさと交流館)



三ツ葉会(13:30~15:00丁ノ町地域交流センター)

手話伊都手のひら(19:30~21:00妙寺公民館)

ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)



12月2日(金)、一般社団法人生命保
険協会和歌山県協会から福祉巡回車を
寄贈いただきました。花園地域で活用
させていただきます。